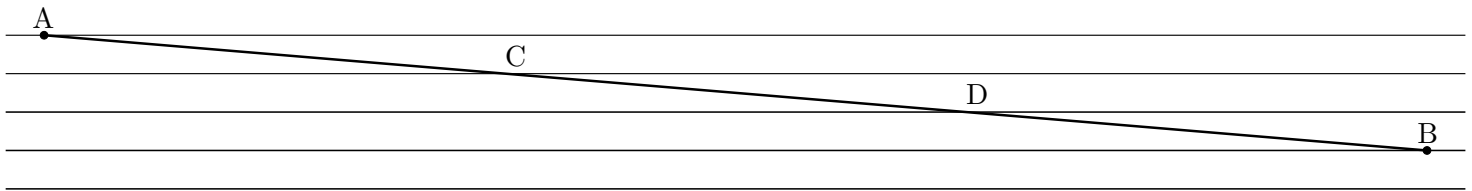


### 3.6.3 元気話・線分3等分

3年『相似』において「平行線と比の性質」を使って線分を3等分する問題があります。自分はその性質の利用を主とした授業をしています。でも問題解決としてその作図方法を生徒自らの手で見つけさせるには、どのような手立てを設定したらいいのでしょうか？ いくら前時において「平行線と比の性質」、「比と平行線の性質」を学習していてもそのままではやや難問すぎます。ということで以下のような手立ては使えないかな？ ということで書きました。



生徒が使用しているノートを使います。罫線2本はさんだ右端を点A, 左端を点Bとして線分ABを作ります。ノートの罫線と交わったところを点C, 点Dとしてそれぞれの線分の長さを測るのです。3つの線分AC, CD, DBを実測させることで長さが等しく3等分になる事に気づかせるのです。

そして任意の線分の3等分する作図問題を出題するのです。そうすればノート上でできた3等分をなんとか作図に生かすことができないか, 考える手立てができると思います。